

科目名 (英)	ミュージックセオリー I ( Music Theory I )	選択必修	必修	年次	1	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科・コース	プロミュージシャン科・商業音楽科・音楽プロデュース科・スーパー・エンターテイメント科	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	通年
【授業の学習内容】							
譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。							
※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】							
プロミュージシャンや声優、俳優には移調や楽曲制作、演奏に必要な基礎知識、裏方には照明や台本に照らし合わせてタイミングや間の取り方を、そして音楽の基礎知識をあまり必要としない学科の学生にも、学び方や、考え方の多面性を育てることが目標。							

授業計画・内容	
1回目	<楽譜の歴史> ファンデーションカリキュラムの説明、楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への移り変わりを知る
2回目	<音名> 鍵盤と音名の一致 楽器ごとの音域を知る
3回目	<音符、休符> 音符、休符の表し方
4回目	<拍子記号> 小節線について、単純拍子、複合拍子は紹介のみ、タイ、シンコペーション
5回目	<反復記号> 反復記号を学び、音源を使用して楽譜を終えるようにする
6回目	<スコアリーディング> 楽譜と音源を使用し、前半の総復習
7回目	<確認テスト>確認テスト
8回目	<メジャースケール> メジャースケールの仕組み、♯系のメジャースケールの仕組み
9回目	<メジャースケール> 5度圏、♭系のメジャースケールの仕組み
10回目	<記譜法、臨時記号> 調号を臨時記号の違い、臨時記号の効力、正しい楽譜の書き方
11回目	<テンポ、強弱記号> 速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ
12回目	<スコアリーディング> 楽譜と音源を使用し、後半の総復習
13回目	<期末テスト> 期末テスト
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習時間外学習	宿題はほぼありませんが、毎回プリントを提出して頂きます。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生へのメッセージ	基礎ですので面白くはないかもしれません、楽しく学べるよう準備しています。よろしくお願ひいたします。
【使用教科書・教材・参考書】	
ミュージックセオリー教科書、ワークブック	

科目名 (英)	イヤートレーニング I ( Ear Training I )	選択必修	必修	年次	1	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科・コース	プロミュージシャン科・商業音楽科・音楽プロデュース科・スーパー・エンターテイメント科	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期 曜日・時限
【授業の学習内容】							
譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。							
※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】							
音程1～8度、音程のまとめ、メジャーとマイナーの聞き分け。四分音符から16分音符まで。							

授業計画・内容	
1回目	<音名> リズムは四分音符と四分休符、2線紙を使って音の高低を判定。
2回目	<音符、休符> 5線紙を使っての書きとり、八分音符が入ったリズム打ち、3線紙を使って音の高低判定。
3回目	<拍子記号> リズム八分休符の書きとり、5線紙を使ってC～Eの書きとり、全音、半音と度数のみ
4回目	<反復記号> リズム復習、休符の多い書きとり問題、音程は1,2,3,8のみ
5回目	<スコアリーディング> リズム復習、16分音符の導入、メロディー暗記問題、音程1, 2, 3, 8度のみ、変化記号がついた場合。
6回目	<中間テスト>
7回目	<メジャースケール#系> リズム復習、16分音符、書きとり、メロディーは跳躍進行、八分音符の導入、新曲視唱、音程は1～5, 8 トライーン
8回目	<メジャースケールb系> リズム八分休符、八分音符の導入、メロディーはC～Fまでの順次進行、音程は1～5, 8 トライーン②
9回目	<記譜法、臨時記号> リズム8分と16分の組み合わせの導入、メロディーC～Gまでの順次進行、音程1～6と8度
10回目	<テンポ、強弱記号> リズム16分と8分の組み合わせの導入、メロディーC～Gまでの跳躍進行、音程1～8度
11回目	<スコアリーディング> リズム総復習、メロディー総復習、音程1～8度
12回目	<予備テスト>
13回目	<期末テスト>
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習時間外学習	宿題はありませんが、進行に差し支える学生には復習プリントを用意しています。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生へのメッセージ	歌う事によって、体で音を感じていきましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	
プリント	

科目名 (英)	デジタルテクノロジー基礎 I ( Digital Technology Fundamentals )	必修選択	必修選択	年次	1年前期	担当教員	西本祐介
学科・コース	音楽プロデュース科・プロミュージシャン科	授業形態	講義演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	1年前期 火.5限
【授業の学習内容】							
映像制作アプリケーションの操作方法やPWA(プログレッシブ・ウェブ・アプリ)などの制作方法を学ぶと同時に最新のテクノロジーについての学習を行います。							

授業計画・内容	
1回目	Keynoteを使ったプレゼンテーション素材の制作①「文字入力・画像挿入などの基本操作について」
2回目	Keynoteを使ったプレゼンテーション素材の制作②「文字入力・画像挿入・データの書き出しについて」
3回目	iMovieとKeynoteを連携したプレゼンテーション素材の制作①「iMovieの基本操作と画像挿入について」
4回目	iMovieとKeynoteを連携したプレゼンテーション素材の制作②「iMovieの基本操作と動画の挿入について」
5回目	Googleドライブ・スプレッドシートの活用について①
6回目	Glide Appを使ったアプリ制作について①「基本操作方法」※画像編集に役立つWebサービスの紹介
7回目	Glide Appを使ったアプリ制作について②「プロフィール掲載アプリの制作①」 ※音声・映像データを共有する為のクラウドサーバーについて
8回目	Glide Appを使ったアプリ制作について③「プロフィール掲載アプリの制作②」※動画の素材収集に役立つWebサービスの紹介
9回目	プロフィールアプリの制作①とフォントの追加について
10回目	プロフィールアプリの制作②
11回目	プロフィールアプリの制作③
12回目	業務で使える様々なアプリケーションテクニック①
13回目	業務で使える様々なアプリケーションテクニック②
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	鉛筆やノートと同じレベルでPCに触れてていきましょう。
評価方法	■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出欠席・遅刻など)
受講生への メッセージ	様々なアプリケーションに触ることで「自分の中の出来る！」を増やしていってください。 多くの「出来る！」がアイデアを生み出してくれます。 そのアイデアを是非顧客満足につなげていってください。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook	

科目名 (英)	デジタルテクノロジー基礎Ⅱ ( Digital Technology Fundamentals )	必修選択	必修選択	年次	1年後期	担当教員	西本祐介
学科・コース	音楽プロデュース科・プロミュージシャン科	授業形態	講義演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	1年後期 火.5限
【授業の学習内容】 映像制作アプリケーションの操作方法やPWA(プログレッシブ・ウェブ・アプリ)などの制作方法を学ぶと同時に最新のテクノロジーについての学習を行います。							
＜実務者経験＞ 20年以上にわたり、アーティスト・ディレクター・インストラクターとして様々な音楽・映像・イベント・コンテンツの制作・ステージ出演・マネジメント業務を行う。							

授業計画・内容	
1回目	Final Cut Proの操作方法と作品制作について① 定番のWebサービスの紹介①
2回目	Final Cut Proの操作方法と作品制作について② 定番のWebサービスの紹介②
3回目	Final Cut Proの操作方法と作品制作について③ 定番のWebサービスの紹介③
4回目	Final Cut Proの操作方法と作品制作について④ 定番のWebサービスの紹介④
5回目	デザインを考える、デザインを簡易的に行えるアプリやWebサービスについて①
6回目	デザインを考える、デザインを簡易的に行えるアプリやWebサービスについて②
7回目	Glide Appを使ったより高度なアプリ制作①
8回目	Glide Appを使ったより高度なアプリ制作②
9回目	様々なアプリを複合的に使用しプレゼンテーション素材を制作する①
10回目	様々なアプリを複合的に使用しプレゼンテーション素材を制作する②
11回目	進級制作をGlideアプリ内に搭載する① 「デジタルポートフォリオ制作」
12回目	進級制作をGlideアプリ内に搭載する② 「デジタルポートフォリオ制作」 ブラッシュアップ
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習時間外学習	鉛筆やノートと同じレベルでPCに触れてていきましょう。
評価方法	■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出欠席・遅刻など)
受講生へのメッセージ	様々なアプリケーションに触れることで「自分の中の出来る！」を増やしていってください。 多くの「出来る！」がアイデアを生み出してくれます。 そのアイデアを是非顧客満足につなげていってください。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook	

科目名 (英)	デジタルテクノロジー基礎Ⅲ ( Digital Technology Fundamentals )	必修選択	必修選択	年次	2or3年	担当教員	西本祐介
学科・コース	音楽プロデュース科・プロミュージシャン科	授業形態	講義演習	総時間(単位)	30 ( 2 )	開講区分	半期 曜日・時限
【授業の学習内容】 映像を使ったプレゼンテーションができるようになることをテーマに「映像・ビジネス・アプリ・AI」などのアプリケーションを学ぶ							
<実務者経験> 20年以上にわたり、アーティスト・ディレクター・インストラクターとして様々な音楽・映像・イベント・コンテンツの制作・ステージ出演・マネジメント業務を行う。							

授業計画・内容	
1回目	イベント時のタイムスケジュールを作る(EXCELの計算式)①
2回目	EXCELの計算式を使った入力と制作物①
3回目	EXCELの計算式を使った入力と制作物②
4回目	Word/Excel/PowerPointを使った資料制作と連携方法について①
5回目	Word/Excel/PowerPointを使った資料制作と連携方法について②
6回目	Word/Excel/PowerPointを使った資料制作と連携方法について③
7回目	PDFの加工について
8回目	プロフィールシートの制作①「レイアウト」
9回目	プロフィールシートの制作②「映像や音声の埋め込み」
10回目	プロフィールシートの制作③「添削と完成」
11回目	Webサービスの有効活用①
12回目	Webサービスの有効活用②
13回目	Webサービスの有効活用③
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習時間外学習	鉛筆やノートと同じレベルでPCに触れていきましょう。
評価方法	■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出欠席・遅刻など)
受講生へのメッセージ	様々なアプリケーションに触れることで「自分の中の出来る！」を増やしていってください。 多くの「出来る！」がアイデアを生み出してくれます。 そのアイデアを是非顧客満足につなげていってください。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook	

科目名 (英)	デジタルテクノロジー基礎IV ( Digital Technology Fundamentals )	必修選択	必修選択	年次	2or3年	担当教員	西本祐介
学科・コース	音楽プロデュース科・プロミュージシャン科	授業形態	講義演習	総時間(単位)	30 ( 2 )	開講区分	半期 曜日・時限
【授業の学習内容】 映像を使ったプレゼンテーションができるようになることをテーマに「映像・ビジネス・アプリ・AI」などのアプリケーションを学ぶ							
<実務者経験> 20年以上にわたり、アーティスト・ディレクター・インストラクターとして様々な音楽・映像・イベント・コンテンツの制作・ステージ出演・マネジメント業務を行う。							

授業計画・内容	
1回目	進級制作に向けての作業と制作物の確認
2回目	自分の売り出したいものを「映像・文字データに起こす」
3回目	完成イメージの明確化と不足物についての確認
4回目	課題制作01
5回目	課題制作02
6回目	課題制作03
7回目	課題制作04
8回目	中間報告と添削(リテイク)
9回目	課題制作05
10回目	課題制作06
11回目	課題制作07
12回目	課題制作08
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習時間外学習	鉛筆やノートと同じレベルでPCに触れていきましょう。
評価方法	■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出欠席・遅刻など)
受講生へのメッセージ	様々なアプリケーションに触ることで「自分の中の出来る！」を増やしていってください。 多くの「出来る！」がアイデアを生み出してくれます。 そのアイデアを是非顧客満足につなげていってください。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook	

科目名 (英)	グローバルコミュニケーション I ( Global Communication I )	必修 選択	必修	年次	1.2.3.4	担当教員	ILC
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	240 ( 16 )	開講区分 曜日・時限	開講時間は受講者のレベルにより異なる
学科・コース	全学科・全コース						
<b>【授業の学習内容】</b>							
日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。 ※講師1実務者経験:2001年より日本にて英会話講師の経験あり ※講師2実務者経験:2000年より日本にて教授をしている。小学、中学、高等学校等で英会話の教授経験あり。							
<b>【到達目標】</b>							
様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。							
<b>授業計画・内容</b>							
1回目	EVOLVE UNIT 01 ※使用テキスト(EVOLVE1.2.3)は受講者レベルにより異なる						
2回目	EVOLVE UNIT 02						
3回目	EVOLVE UNIT 03						
4回目	EVOLVE UNIT 04						
5回目	EVOLVE UNIT 05 授業内小テスト						
6回目	EVOLVE UNIT 06						
7回目	TOEIC中間試験						
8回目	EVOLVE UNIT 07						
9回目	EVOLVE UNIT 08						
10回目	EVOLVE UNIT 09						
11回目	EVOLVE UNIT 10 授業内小テスト						
12回目	EVOLVE UNIT 11						
13回目	EVOLVE UNIT 12						
14回目	試験前対策						
15回目	TOEIC期末試験						
準備学習 時間外学 習	事前に教科書を読んでおきましょう。						
評価方法	TOEIC中間・期末試験の結果 60% 授業な小テストの結果 10% 授業内課題への取り組み 10% 出席状況 20%						
受講生への メッセージ	皆さんには既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！						

科目名 (英)	韓国語講座 I ( Korean Language )	必修選択	選択	年次	1	担当教員	松浦彩李
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
学科・コース	全学科(希望者のみ受講)					曜日・時限	水曜日1限目

【授業の学習内容】  
文字の読み、書き、発音。挨拶をする/ 自己紹介をする。国籍、趣味、職業、好みを尋ねる。家族紹介をする。場所を尋ねる。

(講師プロフィール)  
韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。  
日本認定心理士の資格を持つ。

【到達目標】  
文字を読める書ける。  
簡単な挨拶が出来る。  
平易な韓国語が理解でき、初步的な韓国語でコミュニケーションがとれるようになる

授業計画・内容	
1回目	ハングルの仕組みと基本母音字
2回目	子音字(1)平音
3回目	子音字(2)激音、濃音
4回目	合成母音字
5回目	パッチム (一文字パッチム、二文字パッチム)
6回目	日本語のハングル表記、辞書引き方、キーボードの打ち方 、発音上手になるコツ、小テスト(単語の正しい表記、発音通りの表記)
7回目	自己紹介:私は日本人です (～は、～です、～と申します、～といいます)
8回目	趣味は何ですか？(～が、～は、～ですか)語彙 単語
9回目	韓国人ではありません(～でいらっしゃいますか、～ではありません)
10回目	今、日本にいます(あります・います/ありません・いません)、こそあど言葉
11回目	週末には普段何をしていますか？ (します、しています、～です、～ですか)
12回目	演劇を見ます(です、ますのかしこまったく丁寧語、用言の否定語、動詞の反対語、ハッピーバースデーの歌)
13回目	何料理が好きですか(です、ますの打ち解けた丁寧語)
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	特にありません。
評価方法	■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50%
受講生への メッセージ	前期の授業ですべての韓国語の文字が読めます。文字が読めるとKPOPももっと楽しめます。。 自分の名前も韓国語で書いて簡単な自己紹介もできます。
【使用教科書・教材・参考書】	
楽しく学べる韓国語	

科目名 (英)	韓国語講座 II ( Korean Language )	必修選択	選択	年次	1	担当教員	松浦彩李
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	後期 曜日・時限 水曜日1限目

【授業の学習内容】

値段を尋ねる(買い物)。予定について話す。道を尋ねる。食事や映画を誘う。希望を述べる。

(講師プロフィール)

韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。

いつ、どこ、誰が、なぜ、どのように、いくらなどを使って簡単な会話できる。韓国旅行で買い物ができる。  
電車に乗ったり、道を尋ねる事が出来る。食堂で好きな食べ物を注文することなど簡単な会話ができる。

授業計画・内容

1回目	とても素敵でよかったです 用言の過去形(～した、～かった、だつた)形容詞の反対語
2回目	この靴いくらですか？漢数詞いち、に さん.... けれど～ですね
3回目	夕方6時から10時まであります、固有数詞一つ、二つ、三つ....
4回目	運転できますか 可能、不可能の表現
5回目	食事はされましたか 敬語(現在の尊敬語、～なさる、～される/過去の敬語、～なさった)
6回目	旅行はどこへ行きましょうか 勧誘形、しましょう/ざんざいな言い方/助詞～で、～の方へ
7回目	映画を見たいです ～がしたい/～したがる
8回目	写真を撮ってもいいですか してもいい/してみる/しないでください禁止
9回目	報告書を作らなければなりません 義務、条件 しなければなりでん
10回目	コンビニがあるのでそこで尋ねてください 原因、理由 ～だから、～ので
11回目	何をなさいますか ～します意志や推測の表現
12回目	冬休みの時何をするつもりですか ～と思います、～のために
13回目	
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習時間外学習	特にありません。
評価方法	■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50%
受講生へのメッセージ	文字は読めるようになったので、楽しく、しっかり基礎を勉強することによって、ますます興味を持つようになると思います。 これからは自分で言いたいことを会話文を作ってどんどん会話しましょう。 日本語の語順とほぼ同じなので単語はたくさん覚えましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
楽しく学べる韓国語	

科目名 (英)	韓国語講座 III ( Korean Language )	必修選択	選択	年次	2	担当教員	松浦彩李
		授業形態	講義	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
学科・コース	全学科(希望者のみ受講)					曜日・時限	水曜日2限目

【授業の学習内容】  
初対面の人と話す。趣味、家族、職業について話す。手紙やメールを書く。道案内をする。誘ったり、希望を述べる 感想をいう。

(講師プロフィール)  
韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。  
日本認定心理士の資格を持つ。

【到達目標】  
自己紹介と他人の紹介ができる。交通手段を尋ねる事ができる。手紙やメールを書ける。誘ったり、希望を述べたり、感想をいう事ができる。

授業計画・内容	
1回目	お名前は何とおっしゃいますか (インタビューする)会話 単語 表現
2回目	打ち解けた敬語 ~でいらっしゃいますか/条件、仮定 ~たら /意図、計画 ~しようと思います①練習問題 日本語を韓国語に訳す
3回目	朝子といいますが、日本から来ました (自己紹介)会話 単語 表現
4回目	説明、紹介 ~なので/ 以来、期間~してから/動作の順序~した後で、~する前に 1) メールを読む
5回目	魚は焼かないでください(決まりを言う)会話 単語 表現
6回目	義務~しなければなりません 2)メールを読む ② 練習問題 日本語を韓国語に訳す
7回目	丁寧な命令、許可、禁止~ください/~でもいいですか/~してはいけません
8回目	ファンの集いに行くことになりました(約束をする)会話 単語 表現
9回目	形容詞の連体形~な、~い/理由~で、~なので/決心~することにしました ③ 練習問題 日本語を韓国語に訳す
10回目	道を渡って左にずっと行ってください(道案内をする)会話 単語 表現
11回目	位置を表す語 前、後、左、右/ 手段~で/動作の順序~してから 3)メールを書く
12回目	ファンの集いに行ってみたんですけど…(感想を言う)会話 単語 表現
13回目	動作、存在しの現在連体形 ~している、~する~/試行、経験 ~してみました
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	特にありません。
評価方法	■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50%
受講生への メッセージ	日常会話が少しずつ言えるようになります。 KPOPの歌詞も少しずつ訳することができます。
【使用教科書・教材・参考書】	
楽しく学べる韓国語	

科目名 (英)	韓国語講座 IV ( Korean Language )	必修選択	選択	年次	2	担当教員	松浦彩李
学科・コース	全学科(希望者のみ受講)	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	後期 水曜日2限目

【授業の学習内容】

一日の日課を話す。敬語で丁寧に依頼する。体の具合を言う。人の趣向や性格を言う。間接話法で伝える。

(講師プロフィール)

韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。

日本認定心理士の資格を持つ。

【到達目標】

最近のマイブームや経験したことを話すことが出来る。敬語を使ってより丁寧な依頼をすることができる。  
体の具合を説明できる。間接話法で伝えることができる。

授業計画・内容	
1回目	「朝子さんの一日」 読解 読んで韓国語で質問したり、答えましょう
2回目	「少し安くしてください」店での買い物 依頼
3回目	～してみてください(勧誘/アドバイス)/～してくださいますか(より丁寧な依頼)
4回目	「私の気持ちですから受け取ってください」(プレゼントする) ～だから(理由)
5回目	～ですね(感嘆)/～そうです、～だろうと思います(推測)
6回目	「咳がひどくて眠れませんでした」(体の具合をいう)
7回目	～出来ない(不可能)/～時、するとき(時間、場合)
8回目	「字幕を見ながら勉強しています」(勉強の仕方を話す)
9回目	～する方です(傾向)/～しながら(同時、並行動作)/～するのが(事柄)
10回目	「今日は来られないそうです」(話を伝える、間接話法)
11回目	～だそうです、～だったそうです(間接話法過去)
12回目	久しぶりに来てみて、どうですか(思い出を話す)
13回目	
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	特にありません。
評価方法	■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50%
受講生への メッセージ	日常会話が出来て、一人で韓国に行った場合でも基本的な事柄に対応が出来るようになります。
【使用教科書・教材・参考書】	
ちよこっとチャレンジ！韓国語	

科目名 (英語表記)	キャリア教育 I ( Carrier planning-I )	必修選択	必修	年次	1	担当教員	西本祐介
学科・コース	音楽プロデュース科・スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
						曜日・時限	木5限
【授業の学習内容】							
本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道をみつけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいかという「気づき」を与える。キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的につながるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB/OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。講師プロフィール>東京音楽大学出身 サキソフォニスト ジャニーズをはじめアイドルのサポートメンバーとして活躍。ジャズ、吹奏楽などの演奏活動と指導も行っている。							
【到達目標】							
1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる 2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 自己の働く意義(勤労観・職業観)を説明できる 4. 目指す音楽業界を理解し、その特徴を説明できる 5. 自己実現(夢をかなえる)のための目標設定を実践できる							

授業計画・内容	
1回目	集団(クラス)づくりの理解と実践 (集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う)
2回目	サポートアンケート実施。その他のインフォメーション 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
3回目	学園祭を盛り上げるためにどうすれば良いか?「集団での役割」の理解と実践
4回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5回目	「集団での役割」の理解と実践 <学園祭準備活動>
6回目	グループワーク:音楽業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7回目	グループワーク:音楽業界研究と自己の進路を考える ①
8回目	グループワーク:人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9回目	グループワーク:希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返る
10回目	グループワーク:夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
11回目	グループワーク:音楽業界研究と自己の進路を考える ②
12回目	グループワーク:セルフマネジメント(自己理解)とチームマネジメント(協働作業)の振り返り
13回目	グループワーク:振り返りとこれからの目標を設定する
14回目	Hospital Of Miracle リハーサル
15回目	Hospital Of Miracle 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人发掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント(自己理解)】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント(自己理解)】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英語表記)	キャリア教育 II ( Carrier planning-II )	必修選択	必修	年次	1	担当教員	西本祐介
学科・コース	音楽プロデュース科・スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	後期
曜日・時限	木5限						
【授業の学習内容】							
本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道をみつけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいかという「気づき」を与える。キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的につながるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB/OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。<講師プロフィール>東京音楽大学出身 サキソフォニスト ジャニーズをはじめアイドルのサポートメンバーとして活躍。ジャズ、吹奏楽などの演奏活動と指導も行っている。							
【到達目標】							
1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる 2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる							

授業計画・内容	
1回目	自己理解 ① 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
2回目	自己理解 ② 自己PR/履歴書作成 <自己PR・趣味特技>
3回目	自己理解 ③ 自己PR/履歴書作成 <専門分野・関心事>
4回目	自己理解 ④ 自己PR/履歴書作成 <志望動機・立志作文>
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り
8回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α」を学ぶ
9回目	社会人準備 ② マナー教育(収入と支出のバランスを学ぶ)
10回目	社会人準備 ③ 社会保険や税の仕組みなどを学ぶ
11回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <We are FSM準備活動>・自己理解とインターンシップ準備 ①
12回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <We are FSM準備活動>・自己理解とインターンシップ準備 ②
13回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
14回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
15回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント(自己理解)】学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント(自己理解)】事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科 目 名 (英語表記)	キャリア教育Ⅲ ( Carrier planning-Ⅲ )	必 修 選 抹	必 修	年 次	2	担当教員	西本祐介
		授 業 形 態	講 義 演 習	総 時 間 ( 単位 )	30 ( 2 )	開 講 区 分	前 期
学科・コース	音楽プロデュース科・スーパーeエンターテイメント科			曜 日・時 限			木5限
【授業の学習内容】							
<p>本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道をみつけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいかという「気づき」を與え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的につながるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB/OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。&lt;講師プロフィール&gt;東京音楽大学出身 サキソフォニスト ジャニーズをはじめアイドルのサポートメンバーとして活躍。ジャズ、吹奏楽などの演奏活動と指導も行っている。</p>							
【到達目標】							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる</li> <li>2. ホスピタリティを実践し、視野を拡大する。</li> <li>3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる</li> <li>4. インターンシップ、オーディションなど現場で行動できるコミュニケーション力をつける</li> </ol>							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ① 個人スピーチの実施(自己肯定感を高める。)
2回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ② 個人スピーチの実施(自己肯定感を高める。)
3回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ③ 個人スピーチの実施(自己肯定感を高める。)
4回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り
8回目	グループワーク ① チームワーク力
9回目	グループワーク ② プrezentation力
10回目	グループワーク ③ イノベーション力
11回目	自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ①
12回目	自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ②
13回目	自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ③
14回目	Hospital Of Miracle リハーサル
15回目	Hospital Of Miracle 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント(自己理解)】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント(自己理解)】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英語表記)	キャリア教育IV ( Carrier planning-IV )	必修選択	必修	年次	2	担当教員	西本祐介
学科・コース	音楽プロデュース科・スーパーeエンターテイメント科	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	後期
						曜日・時限	木5限
【授業の学習内容】							
本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道をみつけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいかという「気づき」を與え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB/OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。<講師プロフィール>東京音楽大学出身 サキソフォニスト ジャニーズをはじめアイドルのサポートメンバーとして活躍。ジャズ、吹奏楽などの演奏活動と指導も行っている。							
【到達目標】							
1. スピーチ能力を高める 2. 自分自身をしっかり表現できる 3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる 4. インターンシップ、オーディションなど現場で行動できるコミュニケーション力をつける							

授業計画・内容	
1回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ① 個人面談（面接練習）
2回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ② 個人面談（面接練習）
3回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ③ 個人面談（面接練習）
4回目	SNSについて学ぶ
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り
8回目	スピーチ練習 スピーカーとは
9回目	スピーチ練習 表現力を高める
10回目	スピーチ練習 相手に伝えるには
11回目	自己プロフィールを書く 将来の夢
12回目	自己プロフィールを書く 一番得意な事
13回目	自己プロフィールを書く まとめ
14回目	Hospital Of Miracle リハーサル
15回目	Hospital Of Miracle 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント(自己理解)】学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント(自己理解)】事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科 目 名 (英語表記)	キャリア教育 V ( Carrier Planning V )	必 修 選 択	必 修	年 次	3	担 当 教 員	西本祐介
		授 業 形 態	講 義 演 習	総 時 間 (単位)	30 ( 2 )	開 講 区 分 曜 日・時 限	前 期 木 5 限
学科・コース	音楽プロデュース科・スーパーeエンターテイメント科						

【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道をみつけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。<講師プロフィール> 東京音楽大学出身 サキソフォニスト ジャニーズをはじめアイドルのサポートメンバーとして活躍。<講師プロフィール> 東京音楽大学出身 サキソフォニスト ジャニーズをはじめアイドルのサポートメンバーとして活躍。ジャズ、吹奏楽などの演奏活動と指導も行っている。

【到達目標】

1. 就職活動、デビュー活動を円滑に行うことが出来る
2. 目に止まるプロフィールシート、履歴書が書けるようになる

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	個人面談① 卒業後の目標を設定する
2回目	個人面談② 卒業後の目標を設定する
3回目	個人面談③ 卒業後の目標を設定する
4回目	プロフィールシート、履歴書の書き方① 書式の説明
5回目	プロフィールシート、履歴書の書き方② 記入
6回目	プロフィールシート、履歴書の書き方③ チェック～フィードバック
7回目	プロフィールシート、履歴書の書き方④ 修正～完成
8回目	面接練習①
9回目	面接練習②
10回目	面接練習③
11回目	面接練習 フィードバックと今後の対策
12回目	前期のまとめ
13回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
14回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
15回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. 新社会人の基礎力のテキストを復習しておく
評価方法	1. 【セルフマネジメント(自己理解)】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント(自己理解)】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	
新社会人の基礎力のテキスト(株式会社 教育企画センター)	

科 目 名 (英語表記)	キャリア教育VI ( Carrier Planning VI )	必 修 選 択	必 修	年 次	3	担 当 教 員	西本祐介
		授 業 形 態	講 義 演 習	総 時 間 (単位)	30 ( 2 )	開 講 区 分 曜 日・時 限	後期 木5限
学科・コース	音楽プロデュース科・スーパーeエンターテイメント科						

#### 【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道をみつけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外美学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。<講師プロフィール> 東京音楽大学出身 サキソフォニスト ジャニーズをはじめアイドルのサポートメンバーとして活躍。<講師プロフィール> 東京音楽大学出身 サキソフォニスト ジャニーズをはじめアイドルのサポートメンバーとして活躍。ジャズ、吹奏楽などの演奏活動と指導も行っている。

#### 【到達目標】

- 「社会人の基礎力の理解」が理解でき実践できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	新社会人の基礎力テキスト第1章「会社に入るということ」① 第1章01-10
2回目	新社会人の基礎力テキスト第1章「会社に入るということ」② 第1章11-20
3回目	新社会人の基礎力テキスト第2章「組織の中で働くということ」①第2章21-29
4回目	新社会人の基礎力テキスト第2章「組織の中で働くということ」②第2章30-39
5回目	新社会人の基礎力テキスト第3章「自分を成長させるキャリアパス」①第3章40-47
6回目	新社会人の基礎力テキスト第3章「自分を成長させるキャリアパス」②第3章48-58
7回目	新社会人の基礎力テキスト第4章「社会人の基礎力を高める」①第4章59-67
8回目	新社会人の基礎力テキスト第4章「社会人の基礎力を高める」②第4章68-74
9回目	新社会人の基礎力テキスト第5章「企業人として遵守すべき規範とは」①第5章75-86
10回目	新社会人の基礎力テキスト第5章「企業人として遵守すべき規範とは」②第5章87-95
11回目	新社会人の基礎力テキスト第6章「社会人として自分を守り高める」①第6章96-102
12回目	新社会人の基礎力テキスト第6章「社会人として自分を守り高める」②第6章103-109
13回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
14回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
15回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. 新社会人の基礎力のテキストを復習しておく
評価方法	1. 【セルフマネジメント(自己理解)】 学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント(自己理解)】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	
新社会人の基礎力のテキスト(株式会社 教育企画センター)	

科目名 (英)	就職対策 I ( Preparation For Career )	選択必修	選択必修	年次	2	担当教員	有限会社コンフィエ 由木千尋
学科・コース	商業音楽科・音楽プロデュース科	授業形態	講義演習	総時間(単位)	60 ( 4 )	開講区分 曜日・時限	通年 火曜日2／3限

#### 【授業の学習内容】

キャリア形成の課題に応じたシートやワークを用いて、就職に不可欠なエントリーシート、履歴書の元となるジョブカードを作成し、必要な時に何時でも自分自身で就職に関する書類を用意できるようにする。キャリア・プランを描き、自分の適性や能力を踏まえて、将来目指したいキャリアを実現する為の具体的な行動計画を作成する。自己の強みを見出し、他人と協働できるようグループワーク、グループディスカッションに取り組む。面接試験のマナーや応対を学ぶ。大人としてのマナーを学ぶ。

#### 【講師プロフィール】

大手人材企業で企業研修講師として6年間従事。独立後、大学・短大・専門学校で就職対策講座、実践講座を23年間勤める。また、中学・高校でキャリア形成教育を担当。企業においては新人教育、入社3年目までの社員に対するキャリアコンサルティングを行っている。

#### 【到達目標】

1. 仕事観・人生観・職業観を持つことができる。
2. 仕事理解・職業理解を深める。
3. 自己理解を深め、自分らしい職業選択ができる。
4. 自己の選択した仕事・職について、企業が求める書類を提出し、就職試験を受ける準備ができる。
5. 就職試験の選考を進め、面接等を受けるに足る知識・実践力を養うことができる。

#### 授業計画・内容

1回目	オリエンテーション 就活スケジュールの説明
2回目	キューブリックの説明 & KP法ワーク／就活で必要な道具 & マインド
3回目	インターンシップ & 検索エンジンについて
4回目	エントリーシートと履歴書の違い、キューブリックの作成
5回目	仕事と人生と価値観とは
6回目	価値観カード、履歴書作成①
7回目	価値観カード、履歴書作成②
8回目	求人票の見方について
9回目	自己紹介、自己PRの仕方について／メールの使用方法
10回目	履歴書自己PR部分の作成
11回目	自己PRの元となる強みについて、ストレングスファインダーカードを使って探ってみる
12回目	履歴書添削
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番

準備学習時間外学習 準備：自身の就活を自主的に進める。進める過程で発生する準備や疑問について、自己の課題として授業内で解決。  
時間外学習：合同企業説明会等への積極的参加(WEB含む)。インターンシップ等での自己研鑽。

評価方法 課題（課題提出、提出期限の厳守）  
習熟度（到達目標に対する習熟度）

受講生へのメッセージ 就職活動において最も大切なものはグリッド(熱意と継続力)。自分自身が納得できる就活を達成できるまで、諦めず粘り強く、取り組んで下さい。昨日の自分よりも今日の自分、未来の自分へ。自分で自分を超えて成長していきましょう。

#### 【使用教科書・教材・参考書】

講師が用意する冊子。プリント等。パワーポイントによる準備。

科目名 (英)	就職対策 II ( Preparation For Career )	選択必修	選択必修	年次	3	担当教員	有限会社コンフィエ 由木千尋
学科・コース	商業音楽科・音楽プロデュース科	授業形態	講義 演習	総時間(単位)	60 ( 4 ) 曜日・時限	開講区分	通年 火曜日2／3限

#### 【授業の学習内容】

キャリア形成の課題に応じたシートやワークを用いて、就職に不可欠なエントリーシート、履歴書の元となるジョブカードを作成し、必要な時に何時でも自分自身で就職に関する書類を用意できるようにする。キャリア・プランを描き、自分の適性や能力を踏まえて、将来目指したいキャリアを実現する為の具体的な行動計画を作成する。自己の強みを見出し、他人と協働できるようグループワーク、グループディスカッションに取り組む。面接試験のマナーや応対を学ぶ。大人としてのマナーを学ぶ。

#### 【講師プロフィール】

大手人材企業で企業研修講師として6年間従事。独立後、大学・短大・専門学校で就職対策講座、実践講座を23年間勤める。また、中学・高校でキャリア形成教育を担当。企業においては新人教育、入社3年目までの社員に対するキャリアコンサルティングを行っている。

#### 【到達目標】

1. 仕事観・人生観・職業観を持つことができる。
2. 仕事理解・職業理解を深める。
3. 自己理解を深め、自分らしい職業選択ができる。
4. 自己の選択した仕事・職について、企業が求める書類を提出し、就職試験を受ける準備ができる。
5. 就職試験の選考を進め、面接等を受けるに足る知識・実践力を養うことができる。

#### 授業計画・内容

1回目	これまでの内容を振り返りながら、現時点までの各々の就職活動の進行具合を振り返る。就活における情報や悩みをシェア。
2回目	ジョブカードの紹介(意義・目的)。シートを使って自己分析を行う。自己のエントリーシートに起こすために必要な部分を補足する。
3回目	各人のエントリー企業を確認。これからエントリーできる、またエントリーしたい企業の洗い出しを行い、情報収集について考える。
4回目	キャリア・プランを描くために大切な「興味・関心」「こだわり・価値観」「強み・能力」を精査しながらジョブカードの作成を進める。
5回目	ジョブカードを基に面接時に求められる応対内容の確認と、面接時のマナー・立ち居振る舞いを演習する。
6回目	面接演習 個人面接を中心にグループで面接演習を行なう。
7回目	面接演習 実際の企業での面接を出来る限り再現して演習を行う。
8回目	企業の社会的な役割と組織を学ぶ。
9回目	就業規則やコンプライアンス等、社会と企業のルールを学ぶ。
10回目	仕事のプライオリティの付け方、報告・連絡・相談等、仲間との連携について学ぶ。
11回目	名刺の受け渡し、来客応対、電話応対等ビジネスマナーの基本を身につける。
12回目	就職内定までの状況を再確認。演習予備日。
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番

準備学習時間外学習 準備: 自身の就活を自主的に進める。進める過程で発生する準備や疑問について、自己の課題として授業内で解決。  
時間外学習: 合同企業説明会等への積極的参加(WEB含む)。インターンシップ等での自己研鑽。

評価方法	課題（課題提出、提出期限の厳守） 度（到達目標に対する習熟度）	習熟
------	------------------------------------	----

受講生へのメッセージ 就職活動において最も大切なものはグリッド(熱意と継続力)。自分自身が納得できる就活を達成できるまで、諦めず粘り強く、取り組んで下さい。昨日の自分よりも今日の自分、未来の自分へ。自分で自分を超えて成長していきましょう。

#### 【使用教科書・教材・参考書】

講師が用意する冊子。プリント等。パワーポイントによる準備。

科目名 (英)	楽器演奏基礎 I ( Basic Instrumental Technique )	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	田中 華愛
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	実技	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	前期 木曜3限
【授業の学習内容】							
<p>ヒット曲にも多い基本のコード進行を使い、アレンジやリズムパターンのレパートリーも増やしていきます。 Logicを使いながら、作曲やアレンジに必要なコードの基礎やピアノの役割をしっかりと学びます。 この1年間で作曲、アレンジに必要な引き出しを増やします。</p> <p>(講師プロフィール) アーティストの楽曲アレンジやバンドサポート、又CMロゴサウンドや校歌のアレンジ作成、ピアノのBGM演奏など様々なシーンで活躍している講師が、作曲やアレンジに必要なコードやフレーズなどを基礎から教えます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	ダイアトニックスケールと3和音のダイアトニックコードを習得できる。メジャーコードとマイナーコードを理解できる。
2回目	key=Cの3コードを転回形で演奏できる。音符の長さと拍子を理解しリズム伴奏できる。
3回目	3コードを使って楽曲に伴奏スタイルを打ち込むことができる。また楽譜を読み書きすることができる。
4回目	【3コード+1】の進行で流行りの曲を演奏できる。4156進行key=C
5回目	【3コード+1】4156進行を使い、key=Fとkey=Gで伴奏を作ることができる。
6回目	【3コード+1】1564進行と162(4)5進行をkey=B ♭とkey=Dで転回形を取り入れて8ビートで伴奏できる。
7回目	【3コード+1】※課題→6451進行を使い決められたサイズの楽曲を作ることができる。及び提出。
8回目	【6254進行】あらゆるヒット曲に多用される6254進行を理解し、key=E ♭の第一転回形スタートで8ビートの両手伴奏ができる。
9回目	【6254進行】6254進行をkey=Aの第二転回形スタートで16ビートのパッキングができる。
10回目	【6254進行】6254進行をkey=Eの3連符のハネのリズムで伴奏し、課題曲に合ったヴォイシングを作ることができる。
11回目	4和音のダイアトニックコードで7thコードを習得することができる。
12回目	【4321進行】4和音のヴォイシングの作り方と両手でのハーモニーを習得することができる
13回目	テスト→筆記&実技
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	ヒットランキング上位に入った楽曲のコードを使いながら学んでいきます。 また、好きなジャンルだけに偏るのではなく、ジャンルは問わず幅広く音楽を聴いてください。 学んだことは自分で使うこと！
評価方法	筆記と実技とアレンジ音源提出
受講生への メッセージ	ピアノの授業は1年間しかありません。作曲をする上で鍵盤は必須となりますので、頑張って1年間続けましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Logicが入ったPCと五線譜は毎回持ってきてください。	

科目名 (英)	楽器演奏基礎Ⅱ ( Basic Instrumental Technique )	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	田中 華愛
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	実技	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	後期 木曜3限
【授業の学習内容】							
後期は引き続きヒット曲の参考曲を使用し、ピアノ以外の音色を取り入れながら、さらに自分らしいアレンジができるような伴奏スタイルとハーモニーアレンジを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	【456進行】add、sus、dimなどを理解できる。また指定曲にaddやsusを使いシンコペーションで演奏することができる
2回目	【456進行】オルガンの音色で音を繋ぐ奏法や、グリスなどの様々な奏法を習得できる
3回目	【カノンコード】key=Cでカノンコードを習得することができる
4回目	【カノンコード】分数コードを理解できる。トニックペダルやクリシエを理解し演奏することができる
5回目	【カノンコード課題】stringsで伸ばした音やピッチカートのフレーズを作ることができる→課題提出
6回目	ペントニックやマイナーペントニックスケールを使いシンセでリフを作ることができる
7回目	【Just the two of us進行】key=Cで基本的な進行とヴォイシングを身に付けることができる
8回目	【Just the two of us進行】key=E♭で課題曲に合ったヴォイシングとバッキングができる
9回目	【Just the two of us進行】同じ曲サイズで違うアレンジを作ることができる
10回目	独立した旋律でカルテットのハーモニーを作ることができる
11回目	テストと楽曲提出
12回目	授業振り返り
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	音楽の聴き方が変わって来たと思います。 後期はピアノ以外の音色も取り入れて、その楽器に合う伴奏パターンやハーモニーのアレンジなども扱っていきますので、普段から音楽を聴く際に耳を鍛えておいて下さい。
評価方法	アレンジ音源提出
受講生への メッセージ	いよいよ後期になりました。他人と比べる前にしっかり【自分】を活かして、自分にしかできない楽曲を世界に届けていくよう、後期も学ぶことの楽しさを忘れずに！！ 曲作るのは0から物を作ること。いつでも多種な材料を出せるように引き出しを沢山準備しておきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
PCと五線譜は毎回持ってきてください。	

科目名 (英)	楽器演奏基礎Ⅲ (DJ) ( Basic Instrumental Technique III )	必修選択	選択必修	年次	1.2.3	担当教員	Jammy
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日3限

【授業の学習内容】

現場での即戦力となる知識と技術を身につけ、【アーティスト】としての活動に力を入れていく。

<講師プロフィール>国内外でのDJ・オリジナル曲リリースはもちろん、NBAバスケやラグビーでのスポーツDJやCROSSFMでのレギュラーなど活動は多岐にわたる。また、オーガナイザーとしても活動しており、科学館やお寺などでイベントを行い必ず成功させるトータルプロデュースも行っている。DJ配信サポートやDJ派遣も担当中。

【到達目標】

機材に触れ、Djとしての基礎技術を身につける。また、音楽のジャンルについての知識を手に入れる。

授業計画・内容

1回目	DJで使う楽曲について・楽曲ダウンロード
2回目	機材に慣れる(機材名称の説明・CUEポイントやBPMのお話・簡単な操作)
3回目	機材に慣れる(ヘッドホンを使ってキック合わせの練習・フェードインやフェードアウトで曲を繋いでみる練習)
4回目	機材に慣れる(ヘッドホンを使ってキック合わせの練習・フェードインやフェードアウトで曲を繋いでみる練習)
5回目	機材に慣れる(楽曲ダウンロード・カットインやカットアウトの練習)
6回目	MIX講座(基本的なMIXの技術を学ぶ・音楽のジャンルのお話)
7回目	MIX講座(基本的なMIXの技術を学ぶ・曲の構成について知る)
8回目	MIX講座(基本的なMIXの技術を学ぶ・曲の構成について知る)
9回目	MIX講座(基本的なMIXの技術・課題曲からランダムに選んでMIX練習)
10回目	MIX講座(基本的なMIXの技術を学ぶ・FXを使ったMIX)
11回目	MIX講座(基本的なMIXの技術を学ぶ・FX・イコライザーを両方使ったMIX)
12回目	シチュエーションを決めて30分MIXを作る
13回目	シチュエーションを決めて30分MIXを作る
14回目	9月特別講義
15回目	9月特別講義
準備学習時間外学習	とにかく毎日音楽に触れてみてください。
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】30%
受講生へのメッセージ	憧れのステージに立っているDJもしっかりと地道な努力をしています。一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
Rekordbox(フリーダウンロードソフト)	

科目名 (英)	楽器演奏基礎IV (DJ) ( Basic Instrumental TechniqueIV )	必修 選択	選択必修	年次	1.2.3	担当教員	Jammy
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	後期 火曜日3限

【授業の学習内容】

現場での即戦力となる知識と技術を身につけ、【アーティスト】としての活動に力を入れていく。

<講師プロフィール>国内外でのDJ・オリジナル曲リリースはもちろん、NBAバスケやラグビーでのスポーツDJやCROSSFMでのレギュラーなど活動は多岐にわたる。また、オーガナイザーとしても活動しており、科学館やお寺などでイベントを行い必ず成功させるトータルプロデュースも行っている。DJ配信サポートやDJ派遣も担当中。

【到達目標】

自身のスタイルを確立させ、フォーカスして自己プロモーション力と配信能力・DJとしての知識を身につける。

授業計画・内容	
1回目	前期の復習と課題MIXの添削及び見直し・クラブDJのお話
2回目	シチュエーションを決めたMIX作成・Mixcloudでのアカウント作成
3回目	シチュエーションを決めたMIX作成・録音・ジャケット作成
4回目	シチュエーションを決めたMIX作成・録音・アップロード
5回目	R&B・HIPHOPのMIXトレーニング(クラブDJデビュー前トレーニング)
6回目	Latin・LowbeatのMIXトレーニング(クラブDJデビュー前トレーニング)
7回目	POP・KPOPのMIXトレーニング(クラブDJデビュー前トレーニング)
8回目	HOUSE・EDMのMIXトレーニング(クラブDJデビュー前トレーニング)
9回目	Transitionを使ったMIXテクニック(クラブDJデビュー前トレーニング)
10回目	各ジャンルから3つスタイルを選びシリーズスタイルDJmixをつくる(クラブDJデビュー前トレーニング)
11回目	各ジャンルから3つスタイルを選びシリーズスタイルDJmixをつくる(クラブDJデビュー前トレーニング)
12回目	各ジャンルから3つスタイルを選びシリーズスタイルDJmixをつくる(クラブDJデビュー前トレーニング)
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習 時間外 学習	いつでも現場に出れるように、日々音楽のジャンルについてや雰囲気での選曲ができるようにイメージトレーニングが必要になります。
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】30%
受講生への メッセージ	後半は頑張り次第でどんどん現場活動が多くなります。しっかり出席しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Rekordbox	

科目名 (英)	DTM	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	向野 友規	
(	DTM	)	授業形態	講義演習	総時間(単位)	90 ( 6 )	開講区分 曜日・時限	前期 月1限・2限・火2限
学科・コース	音楽プロデュース科							

【授業の学習内容】

楽曲制作を行う為に必要なLogic Proの操作方法を学びます。

<実務者経験>

「ももち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。

【到達目標】

- 上半期を通して簡単なオリジナル曲を作ることが目標です。最後の授業ではオリジナル曲をみんなの前で発表してもらいます。
- 編集ウインドウを理解出来るようになる
- コピー＆ペーストなどのLogicの基本操作を理解できるようになる
- オーディオインターフェイスを使用、レコーディングできるようになる
- MIDIでのレコーディングができるようになる

授業計画・内容

1回目	プロジェクトの立ち上げ、保存、パウンス
2回目	MIDIとオーディオについて、オーディオインターフェース、MIDIキーボードでのレコーディング
3回目	基本的な操作方法を学びながら、ソフトウェア音源とオーディオを組み合わせた短い曲を作る（1/2）
4回目	基本的な操作方法を学びながら、ソフトウェア音源とオーディオを組み合わせた短い曲を作る（2/2）
5回目	データの送受信（AirDrop、ギガファイル便）、パラアウト
6回目	Logicの詳細なウインドウなど、コントロールバーとディスプレイのカスタマイズ、トラックスタック
7回目	キーコマンドの変更方法、ソロツール、ミュートツールなど
8回目	Logic付属のインストゥルメントについて、即戦力になる音源の紹介、テンプレートの作り方
9回目	エフェクト初級① イコライザー
10回目	エフェクト初級② リバーブ、ディレイ
11回目	エフェクト初級③ コンプレッサー
12回目	シンセサイザーの基本について理解できる（1/2）、基本の波形の種類、音色の違いについて
13回目	サンプリング（Sampler & Quick Sampler）や逆再生など、オーディオに関するテクニックを用いてトラック制作
14回目	音色変化が効果的なエフェクトやエフェクトのオートメーションを使用しトラック制作
15回目	サイドチェーン（サイドチェーンコンプ、ボコーダー）を使用しトラック制作
準備学習 時間外学習	DAWは音楽を皆さんのがやりたい音楽を形にするためのツールです。そのために音楽の3大要素である「メロディ」「リズム」「ハーモニー」を他の授業でしっかりと学んできてください。また、DAW=楽器です。毎日触らないと腕が落ちてしまうので、自宅でも毎日触る時間を作ってください。
評価方法	■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に制作する作品の完成度 ■受講態度（主に出欠席・遅刻など）
受講生への メッセージ	スポーツでいうと基礎体力を作るための「筋トレ」や「走り込み」に当たるフェーズです。ここで勉強したことは、これから先自分がやりたい音楽の制作に必ず応えてくれるので、一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook Logic Pro X	

科目名 (英)	DAWオペレーション I ( DAW Operation I )	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	Yuzen
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義/演習	総時間(単位)	60 ( 4 )	開講区分 曜日・時限	前期 火曜1限
【授業の学習内容】	最先端のサウンド作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。						

<講師プロフィール>  
黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。

【到達目標】

エフェクターの種類と使用法を学ぶ

授業計画・内容	
1回目	モジュレーション系 エフェクター 「コーラス」について
2回目	モジュレーション系 エフェクター 「フェイザー」について
3回目	モジュレーション系 エフェクター 「フランジャー」について
4回目	モジュレーション系 エフェクター 「トレモロ」について
5回目	コンプレッサーについて①
6回目	コンプレッサーについて②
7回目	コンプレッサーについて③
8回目	リミッター/マキシマイザー/エキサイター/エンハンサー①
9回目	リミッター/マキシマイザー/エキサイター/エンハンサー②
10回目	ピッチ系エフェクトについて①
11回目	ピッチ系エフェクトについて②
12回目	ピッチの修正について
13回目	課題制作
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習時間外学習	課題曲の音源、譜面等の事前確認をしておく事
評価方法	各授業内で行う実技チェック(ミニテスト)の期間中の平均評価
受講生へのメッセージ	皆さんの好きな音楽のルーツとなるアーティストや楽曲に触れ、音楽の感性を広げると共に、バンド・作曲活動で十分に役立ててください。
【使用教科書・教材・参考書】	iPad . 課題曲の譜面や音源資料 譜面

科目名 (英)	DAWオペレーションⅡ ( DAW Operation Ⅱ )	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	Yuzen
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義/演習	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分 曜日・時限	後期 火曜1限
【授業の学習内容】	最先端のサウンド作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。						

<講師プロフィール>  
黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。

【到達目標】

エフェクターの種類と使用法を学ぶ

授業計画・内容	
1回目	効果的なサンプル音源の使用について①
2回目	効果的なサンプル音源の使用について②
3回目	効果的なサンプル音源の使用について③
4回目	Logicのミキサー機能を有効に使う①
5回目	Logicのミキサー機能を有効に使う②
6回目	プラグインエフェクト①
7回目	プラグインエフェクト②
8回目	プラグインエフェクト③
9回目	リファレンスを用いて、楽曲のミキシングとエフェクト処理①
10回目	リファレンスを用いて、楽曲のミキシングとエフェクト処理②
11回目	リファレンスを用いて、楽曲のミキシングとエフェクト処理③
12回目	リファレンスを用いて、楽曲のミキシングとエフェクト処理④
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習時間外学習	課題曲の音源、譜面等の事前確認をしておく事
評価方法	各授業内で行う実技チェック(ミニテスト)の期間中の平均評価
受講生へのメッセージ	皆さん的好きな音楽のルーツとなるアーティストや楽曲に触れ、音楽の感性を広げると共に、バンド・作曲活動で十分に役立ててください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	DAWオペレーションIII ( DAW Operation III )	必修選択	選択必修	年次	3	担当教員	Yuzen
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義/演習	総時間(単位)	60 ( 4 )	開講区分 曜日・時限	前期 金曜3限
【授業の学習内容】							
最先端のサウンド作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。							

授業計画・内容	
1回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析① 「課題曲はその時のチャートによります」
2回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析② 「課題曲はその時のチャートによります」
3回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析③ 「課題曲はその時のチャートによります」
4回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析④ 「課題曲はその時のチャートによります」
5回目	リズムトラックとサウンド傾向・楽曲分析⑤ 「課題曲はその時のチャートによります」
6回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる①
7回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる②
8回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる③
9回目	ヒット曲をリファレンスとして楽曲制作とミックスを行ってみる④
10回目	シンセ系のサウンドを研究する①
11回目	シンセ系のサウンドを研究する②
12回目	シンセ系のサウンドを研究する③
13回目	課題制作
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習時間外学習	各授業内で行う実技チェック(ミニテスト)の期間中の平均評価
評価方法	各授業内で行う実技チェック(ミニテスト)の期間中の平均評価
受講生へのメッセージ	皆さんの好きな音楽のルーツとなるアーティストや楽曲に触れ、音楽の感性を広げると共に、バンド・作曲活動で十分に役立ててください。
【使用教科書・教材・参考書】	
iPad . 課題曲の譜面や音源資料 譜面	

科目名 (英)	DAWオペレーションIV ( DAW Operation IV )	必修選択	選択必修	年次	3	担当教員	Yuzen
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義/演習	総時間(単位)	60 ( 4 )	開講区分 曜日・時限	後期 金曜3限
【授業の学習内容】	最先端のサウンド作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。						

<講師プロフィール>  
黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。

【到達目標】  
年代・ジャンル別のヒット曲を分析する力を養い、時代に即したトラックの作成や音色加工方法を学びます。

授業計画・内容	
1回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する①
2回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する②
3回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する③
4回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する④
5回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する⑤
6回目	海外のヒットチャートから最先端のサウンドを研究する⑥
7回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる①
8回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる②
9回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる③
10回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる④
11回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる⑤
12回目	ヒット曲のサウンドと自分のオリジナルサウンドを探ってみる⑥
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習時間外学習	課題曲の音源、譜面等の事前確認をしておく事
評価方法	各授業内で行う実技チェック(ミニテスト)の期間中の平均評価
受講生へのメッセージ	皆さんの好きな音楽のルーツとなるアーティストや楽曲に触れ、音楽の感性を広げると共に、バンド・作曲活動で十分に役立ててください。
【使用教科書・教材・参考書】	iPad . 課題曲の譜面や音源資料 譜面

科目名 (英)	メロディーメイキング I ( Melody Making I )	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	小山 哲平
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義演習	総時間(単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	前期 水曜4限

【授業の学習内容】

メロディの役割や作曲におけるメロディラインの作り方を学びます。各ジャンルでの違いや、コードやスケールとの兼ね合いも合わせて学習します。

＜実務者経験＞

テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。

【到達目標】

コードやスケールとの兼ね合いを理解し、ディスコードなくメロディが作れる。又、そのジャンルにおけるメロディの特徴を作品に組み込むことができる。

授業計画・内容

1回目	シラバス及び到達目標の確認、音楽の三大要素を理解し、作ったメロディをLogic上に打ち込めるようになる
2回目	調とメロディの役割を理解し、調と作ったメロディを作れるようになる
3回目	コードとメロディの関係を理解し、コードに沿ったメロディが作れるようになる(メジャー)
4回目	コードとメロディの関係を理解し、コードに沿ったメロディが作れるようになる(マイナー)
5回目	音源・音色選びについて、Apple Loopを使って作曲する
6回目	一曲を通しての構成を理解し、メロディが作れるようになる
7回目	歌物とinst物の違いを理解し、音域通りのメロディが作れるようになる(歌物)
8回目	オリコンチャート上位の楽曲を聴き、メロディの動きを分析する
9回目	オリコンチャート上位の楽曲を聴き、メロディの動きを分析する
10回目	分析をふまえ、耳に残るメロディの動きと構成を考える
11回目	8bit音源を使っての楽曲制作(耳コピー)
12回目	作詞について 実技テスト
13回目	テストを終えて、後期への課題の明確化と実践
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習時間外学習	楽曲制作をしながら講義の復習を積極的におこなってください。
評価方法	■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出欠席・遅刻など)
受講生へのメッセージ	メロディは作曲をするにあたって最も大切な要素と言っても過言ではありません。耳に残るメロディを目指し、作れるように学習しましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

Macbook, Logic Pro X メモを取れる準備をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。

科目名 (英)	メロディーメイキング II ( Melody Making II )	必修選択	必修選択	年次	1	担当教員	小山 哲平
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義演習	総時間(単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	後期 水曜4限

【授業の学習内容】

メロディの役割や作曲におけるメロディラインの作り方を学びます。後期では各楽器についての知識を得て、より高度で演奏する楽器や声に沿ったメロディを作れるように学習します。

＜実務者経験＞

テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。

【到達目標】

各楽器や声の音域や可能な動きに沿ったメロディを作れるようになる。又、裏メロディを作れるようになる。

授業計画・内容

1回目	シラバス及び到達目標の確認、楽器知識①(その他) 移調楽器、奏法など
2回目	楽器知識②(弦楽器)
3回目	楽器知識③(木管)
4回目	楽器知識④(打楽器)
5回目	楽器知識⑤(金管)
6回目	楽器知識⑥(スコア読解) ※打ち込み
7回目	楽器知識⑦(まとめテスト)
8回目	裏メロディの作り方①(あかとんぼ)
9回目	裏メロディの作り方②(ふるさと)
10回目	メロディ・コードの聞き取り、調の性格について 実技テスト
11回目	BGM制作について①(ゲーム音楽の試聴会)
12回目	BGM制作について②(楽器の特性を生かしたメロディ作り) ブレスタイル アーティキレーションについて
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習時間外学習	楽曲制作をしながら講義の復習を積極的におこなってください。
評価方法	■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出欠席・遅刻など)
受講生へのメッセージ	様々な楽器について知り、触ることはかけがえのない経験と知識となります。積極的に取り組んでください。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook, Logic Pro X メモを取れる準備をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	ミュージックセオリーⅡ ( Music Theory II )	選択必修	必修	年次	1	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	
【授業の学習内容】							
譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							

授業計画・内容	
1回目	<マイナースケール> マイナースケールの仕組み、5度圏を用いてナチュラルマイナーの説明
2回目	<マイナースケール> ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの説明
3回目	<近親調> 各調の関係を楽譜を用いて知る
4回目	<移調> 5線を用いて移調ができるようになる
5回目	<奏法> 省略記号、奏法記号、装飾記号を知る
6回目	確認テスト
7回目	<トライアド> コードの概念とトライアドの構造について知る
8回目	<7thコード> トライアドの知識を踏まえ7thコードに発展させる
9回目	<dim7と7thコードの復習>トライアドと7thコードの響きの違いを曲を用いて知る。dimコードの構造と響き
10回目	<その他のコード> add9,sus4,6thコードについて知る
11回目	期末予備テスト
12回目	期末テスト
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	コードについてのプリントで宿題がでます。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	コードについて学ぶことは全ての演奏者にとって大切なことです。頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
ミュージックセオリー教科書、ワークブック、プリント	

科目名 (英)	ミュージックセオリーⅢ ( Music Theory III )	選択必修	必修	年次	2	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期 曜日・時限
<b>【授業の学習内容】</b>							
譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							

授業計画・内容	
1回目	<メジャーダイアトニックコード>ダイアトニックコードについて、コードネームとディグリーネームを書けるようにする
2回目	<メジャーダイアトニックコードの機能>各機能の意味を知る、主要和音。代理和音について
3回目	<ケーデンス>終止形、ドミナントモーション、ⅡⅤ、セカンダリードミナント、偽終始について
4回目	<転回形>転回形の表記方法 ト音記号を用いた簡単なヴォイシング
5回目	<ヴォイシング、複合拍子>ケーデンスを実際に5線紙に書いてみる、8分の6拍子について詳しく学ぶ
6回目	中間テスト
7回目	<マイナーダイアトニックコード>マイナーダイアトニックコードの仕組み
8回目	<マイナーダイアトニックコード>ハーモニックマイナー、メロディックマイナーのダイアトニック
9回目	<マイナーダイアトニックコードの機能>マイナーコードが持つ機能について知る
10回目	<ヴォイシング>マイナーキーにおけるケーデンスについて知る
11回目	<スコアリーディング>楽譜と音源を用いて後半の総復習
12回目	予備テスト
13回目	期末テスト
14回目	ミュージカル演習 リハ
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学 習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	どんどん難かしくなりますが、一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
ミュージックセオリー教科書、ワークブック、プリント	

科目名 (英)	ミュージックセオリーIV ( Music Theory IV )	選択必修	必修	年次	2	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	後期
【授業の学習内容】							
<p>譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。</p> <p>※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当</p>							

授業計画・内容	
1回目	<ノンコードトーン>ノンコードトーン(経過音、刺繍音、掛留音、先取音、逸音)
2回目	<テンション>テンションの種類、コード使用可能テンション
3回目	<テンションリソルブ>テンションの解決法、Omitの意味
4回目	<アペイラブルノートスケール>コードトーン、テンション、阿保井戸ノートについて、スケールの使い方について
5回目	<その他のスケール>マイナーのアペイラブルの紹介、ドミナントスケール、その他のスケール
6回目	中間テスト
7回目	<代理コード>メジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードを中心にダイアトニック外の代理コードも知る
8回目	<クリシェ、バッシング、定番コードパターン>クリシェ、バッシングコードの手法を学び、コードパターンを発展させる
9回目	<転調>転調のパターンを知り、実践する
10回目	<アナライズ>楽譜を用い、総復習を行う
11回目	予備テスト
12回目	期末テスト
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	2年間の集大成です、頑張りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	
ミュージックセオリー教科書、ワークブック、プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニング II ( Ear Training II )	選択必修	必修	年次	1	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科・コース	プロミュージシャン科・商業音楽科・音楽プロデュース科	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	後期 曜日・時限
【授業の学習内容】							
譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							

授業計画・内容	
1回目	<マイナースケール> リズム総復習、マイナーメロディの視唱、音程ドリル、メジャー、マイナーの聞きわけ
2回目	<マイナースケール> リズム、3連譜の導入、メロディ復習C～Gまで、Cマイナースケールのメロディ視唱、コードC,F,Gの聞きわけ
3回目	<近親調> リズムC,F,Gコード付け導入、後付け、メロディC～Aまでの臨時記号後付け、マイナースケールのメロディ視唱、音程ドリル
4回目	<移調>リズム 16分8分16分の導入、メロディC～Aまで臨時記号後付け、音程ドリル復習
5回目	<奏法> リズム符点8分16分の導入、タイの導入、後付け、メロディC～Bまで臨時記号後付け、音程ドリル復習
6回目	<中間テスト>
7回目	<コード> リズム復習、メロディ低音部の書きとり、音程ドリル復習メジャー・マイナーの聞きわけ
8回目	<コード4和音> リズム8分の6拍子、8分16分16分の導入、低音部の書きとり、音程ドリル復習
9回目	<Dim7と7thコード復習> リズム16分休符の導入、8分の6拍子、16、16、8分の導入、2声メロディ聞きとり
10回目	<その他のコード> 復習リズム打ち8分の6拍子、3連譜の導入、2声メロディ、音程ドリル復習
11回目	<期末テスト予備>
12回目	<期末テスト>
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	特になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	慣れるとどんどんできてきます、お楽しみに！
【使用教科書・教材・参考書】	
プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニングⅢ ( Ear TrainingⅢ )	選択必修	選択必修	年次	2	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科・コース	プロミュージシャン科	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期 曜日・時限
【授業の学習内容】							
譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							

授業計画・内容	
1回目	リズム4分の4、4分の3拍子の聴きとり、8分の6拍子のリズム打ち。メロディ1オクターブと2声メロディ書きとり。
2回目	リズム打ち8分の6拍子、メロディは1オクターブ+低音B、Cmの聴きとり、2声ハーモニーの導入、3度音程のハーモニー練習、I IV Vの進行
3回目	リズム4分の4、4分の3のタイ付き、8分の6書きとり、2声ハーモニーと3度の音程、I IV Vの進行その②
4回目	リズム4分の4、4分の3に16分音符の導入、メロディは1オクターブ+低音A、Amでのメロディ聴きとり、トライーンハーモニーの練習
5回目	リズム4分の4、4分の3に16分音符、タイの導入、メロディは2オクターブ+低音A、Amでのメロディ聴きとり、2声ハーモニーの練習
6回目	中間テスト
7回目	リズム4分の4、4分の3、8分の6、メロディはKeyF、2声。ハーモニーの復習、コードII V Iの聴きとり
8回目	8分の6、タイ付きリズム導入、メロディはKeyF.2声メロディ、ハーモニー復習
9回目	リズムはそれぞれにタイと符点付き、メロディは16分音符を導入、2声ハーモニーはオクターブとユニゾンの練習
10回目	タイ付きリズム書きとり、2声ハーモニーの復習
11回目	総合復習
12回目	期末テスト予備
13回目	期末テスト
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習時間外学習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生へのメッセージ	より専門的なお勉強です。基礎をしっかり学びましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニングIV ( Ear Training IV )	選択必修	選択必修	年次	2	担当教員	株式会社国際エジュケーションズ
学科・コース	プロミュージシャン科	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	後期 曜日・時限
【授業の学習内容】							
<p>譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。</p> <p>※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当</p>							

授業計画・内容	
1回目	リズム 4分の4、4分の3、8分の6拍子復習、メロディはKEY=G。8分の6メロディ視唱、2声メロディは16分3連譜導入
2回目	リズム4分の4、4分の3、8分4分8分の導入、この週から8分の6はメロディ問題と統合、2声メロディ、ハーモニー復習、コード聞き分け
3回目	リズム4分の4、4分の3、メロディ聞き分け、視唱、コード II V I の聞き分け
4回目	リズム4分の4、4分の3、16分、符点8分の導入、8分の6メロディ聞き取り、2声ハーモニー復習、コードVIを含む聞き分け
5回目	リズム4分の4、復習、4分の3、16分8分の6メロディ聞き分け、視唱、KEY=Gの聞き取り、コード II V I 聞き分け
6回目	中間テスト
7回目	タイ付きリズム導入、2拍程度の短いフレーズで8分の6拍子、KEY=Fメロディ、2声メロディ復習、2声ハーモニー復習
8回目	リズム4分の4、4分の3、符点4分8分の導入、16分8分の6復習、視唱、KEY=F復習、オクターブとユニゾンのハーモニー練習
9回目	スコアリーディング
10回目	総合復習
11回目	予備テスト
12回目	テスト
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	2年間の集大成です。プロへの道としてしっかり学びましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	
プリント	

科目名 (英)	Truck Make I ( Track Make I )	必修選択	必修選択	年次	1年前期	担当教員	緒方 嶺
		授業形態	講義演習	総時間(単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
学科・コース	音楽プロデュース科					曜日・時限	金曜・3限

【授業の学習内容】  
音楽の三大要素「リズム、メロディー、ハーモニー」の中の「リズム」を学習し、適切なリズムを自身の楽曲制作に取り入れる。

＜実務者経験＞  
黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。

【到達目標】  
・基礎的なリズムをDAW上で再現できるようになる  
・各ジャンルごとのリズムパターンを学習し求められるジャンルを適切に制作できるようにする。

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	①ドラムの各パートを覚えて、鳴った音がどのパートか聞き分けられるようになる ②Logicのピアノロールを使用して、2分音符/4分音符を使って4つ打ちを打ち込めるようになる -参考曲:「夜に駆ける/YOASOBI」のドラムが入力ができるようになる(キック&スネアのみ)
3回目	①Logicのピアノロールを使用して、8分音符/16分音符を使って4つ打ちを打ち込めるようになる ②Logicのピアノロールを使用してペロシティの概念を理解して打ち込んだドラムにペロシティをつけることができる -参考曲:「夜に駆ける/YOASOBI」のドラムが入力ができるようになる(ハイハットのグルーヴ)
4回目	①Logicのピアノロールを使用して、8ビートを打ち込めるようになる -参考曲:「ビリー・ジーン/マケル・ジャクソン」のドラムが入力ができるようになる。 ②Logicのピアノロールを使用して、16ビートを打ち込めるようになる -参考曲:「Pretender/Official髭男dism」のドラムが入力ができるようになる
5回目	①Logicのピアノロールを使用して、シャッフルビートを打ち込めるようになる -参考曲:「盗作/ヨルシカ」のドラムが入力ができるようになる
6回目	①Logicのピアノロールを使用して、8ビートのフィルインを打ち込めるようになる ②Logicのピアノロールを使用して、16ビートのフィルインを打ち込めるようになる ③Logicのピアノロールを使用して、シャッフルビートのフィルインを打ち込めるようになる
7回目	①MIDI鍵盤を使用してリアルタイムにドラムを打ち込めるようになる ②リアルタイムで打ち込んだものに対してクオント化をかけてクオント化を使えるようになる
8回目	①ダンスピート(4つ打ち)が用いられるジャンルが説明できるようになる。 ②ダンスピートのドラムパターンを分析。打ち込みができるようになる。(1/2) -参考曲:「新宝島/サカナクション」のドラムが入力ができるようになる(ドラム耳コピ)
9回目	①ダンスピート(4つ打ち)が用いられるジャンルが説明できるようになる。 ②ダンスピートのドラムパターンを分析。打ち込みができるようになる。(2/2) -参考曲:「新宝島/サカナクション」のドラムが入力ができるようになる(ドラム耳コピ)
10回目	①ヒップホップビートで使われる機材の説明ができるようになる。 ②ヒップホップのドラムパターンを分析。打ち込みができるようになる。(1/2) -参考曲:「tufubeats/LONELY NIGHTS」のドラムが入力ができるようになる(ドラムの耳コピ)
11回目	①ヒップホップビートで使われる機材の説明ができるようになる。 ②ヒップホップのドラムパターンを分析。打ち込みができるようになる。(2/2) -参考曲:「tufubeats/LONELY NIGHTS」のドラムが入力ができるようになる(ドラムの耳コピ)
12回目	①ロックビートが用いられるジャンルが説明できるようになる。 ②ロック系のドラムパターンを分析。打ち込みができるようになる。(1/2) -参考曲:「ビースライン/米津玄師」のドラムが入力ができるようになる(ドラムの耳コピ)
13回目	①ロックビートが用いられるジャンルが説明できるようになる。 ②ロック系のドラムパターンを分析。打ち込みができるようになる。(2/2) -参考曲:「ビースライン/米津玄師」のドラムが入力ができるようになる(ドラムの耳コピ)
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	・Logicのインストール ・各種データダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】30%
受講生への メッセージ	現代の音楽はビートのパターンはメロディと同じくらい大事な要素です。リズムを徹底的に追い込みドラム打ち込みを極めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook Logic Pro X	

科目名 (英)	トラックメイクⅡ ( Track Make II )	必修選択	必修選択	年次	1年後期	担当教員	緒方 嶺
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分 曜日・時限	後期 金・3限
【授業の学習内容】	前記に学習したリズムを更に発展させて、音色の加工について学習する						

<講師プロフィール>  
黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。

【到達目標】

- 各ジャンルに合った適切な音色を選択できるようになる
- 商品にできるドラム音色の加工方法を習得する

授業計画・内容	
1回目	生ドラムの音色について(3/10)
2回目	生ドラムの音色について(6/10)
3回目	生ドラムの音色について(10/10)
4回目	生ドラムの音色加工。エフェクターの使い方(3/10)
5回目	生ドラムの音色加工。エフェクターの使い方(6/10)
6回目	生ドラムの音色加工。エフェクターの使い方(10/10)
7回目	ドラムマシンの音色について(3/10)
8回目	ドラムマシンの音色について(6/10)
9回目	ドラムマシンの音色について(10/10)
10回目	ドラムマシンの音色加工。エフェクターの使い方(3/10)
11回目	ドラムマシンの音色加工。エフェクターの使い方(6/10)
12回目	ドラムマシンの音色加工。エフェクターの使い方(10/10)
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>Logicのインストール</li> <li>学習用素材のダウンロード</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■出席率 40%</li> <li>■受講態度 30%</li> <li>■【到達目標に対する達成度】30%</li> </ul>
受講生へのメッセージ	ドラムの音色について学習して自身の楽曲に更に磨きをかけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Logic Pro X, Battery4	

科目名 (英)	トラックメイクIII ( Track Make III )	必修選択	必修	年次	2、3	担当教員	緒方 嶺
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	対面	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分 曜日・時限	前記 金4、5限

【授業の学習内容】

Apple Logicを使用しダンスマジックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用方法、およびシンセサイザーの使用方法。

<講師プロフィール>

黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。

【到達目標】

シンセサイザーを用いて各ジャンルごとに適切な音色が作成できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(2/10)・オシレーターについて
3回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(4/10)・フィルターについて
4回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(8/10)・エンベロープについて
5回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(10/10)・LFOについて
6回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(3/10)2OSCシンセサイザーを用いてベース音色を作成
7回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(7/10)2OSCシンセサイザーを用いてリード音色を作成
8回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)2OSCシンセサイザーを用いてパッド音色を作成
9回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(3/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
10回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(7/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
11回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてリード、ブラック音色を作成
12回目	「Serum」を用いて指定した音色加工ができるようになる(5/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
13回目	「Serum」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてリード音色を作成
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習時間外学習	・NoiseMakerのインストール ・Vitalのインストール ・各種データダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】30%
受講生へのメッセージ	シンセサイザーは現代の音楽で必ずと言っていいほど使われる楽器になります。正解がない音色をどのように作り出すのか学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Logic Pro X、Noise Maker、Vital、Serum	

科目名 (英)	トラックメイクIV ( Track MakeIV )	必修選択	必修	年次	2、3	担当教員	緒方 嶺
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	対面	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分 曜日・時限	後期 金4,5限
【授業の学習内容】 各ジャンルを選択して課題を制作する							
<講師プロフィール> 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	各々ジャンルを選択して課題制作
3回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
4回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
5回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
6回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
7回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
8回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
9回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
10回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
11回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
12回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習時間外学習	・Logicのインストール ・学習用素材のダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】30%
受講生へのメッセージ	ドラムの音色について学習して自身の楽曲に更に磨きをかけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Logic Pro X、Battery4	

科目名 (英)	楽曲制作技法 I ( Songwriting Techniques )	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義演習	総時間(単位)	30 ( 2 )	開講区分曜日・時限	前期 火曜4限
【授業の学習内容】							

作曲未経験者から作曲初学者を対象に、次年時の作編曲法Basicを履修する前提となる「メロディ作成の基本的作法」「メロディと和声の調和の基礎」を学び、抑揚のあるメロディとメロディを生かす効果的な和音を作れる様になる。

＜実務者経験＞  
作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】

「メロディを作る発想の仕方のコツを身に着ける」  
「抑揚のある魅力的なメロディの作り方を会得する」  
「メロディとそのメロディに合う簡単で効果的な和声を組み合わせる事が出来る」

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認 授業概要説明 授業準備説明 作編曲のスキル向上の仕方
2回目	音高による抑揚 全音符課題
3回目	全音符と2分音符のみでのメロディ作成・休符も含めたリズム緩急
4回目	4分音符迄のメロディ作成・密と疎・順次進行と跳躍進行
5回目	8分音符迄のメロディ作成・リズムの反復
6回目	16分音符迄を使った自由なメロディ作成・モチーフと反復を使ったメロディの効果的な構成の仕方を出来る様になる
7回目	起承転結と二部形式・唱歌課題
8回目	内音と外音・どういうコードがメロと合うのか・協和音と不協和音
9回目	外音の使い方①・経過音と刺繍音を使いこなし、変化のあるメロディを作れる様になる
10回目	外音の使い方②・先取音と係留音を使いこなし、意外性のあるメロディを作れる様になる
11回目	外音の使い方③・倚音と逸音を使いこなし、インパクトのあるメロディを作れる様になる
12回目	協和音と不協和音・メロディと和音の関係・既存のメロディにコードを複数パターンつける様にする
13回目	前期まとめ・自由課題
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習時間外学習	時間外作成作品を譜面で持参する
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ抑揚のあるメロディと、それを効果的に生かす和声が付けられているか、総合評価。
受講生へのメッセージ	初心者を脱するための基本的な作曲作法を身につけます
【使用教科書・教材・参考書】	
音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具・ヘッドフォン又はイヤフォン	

科目名 (英)	楽曲制作技法Ⅱ ( Songwriting Techniques )	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義演習	総時間(単位)	30 ( 2 )	開講区分曜日・時限	後期 火曜4限
【授業の学習内容】 作曲未経験者から作曲初学者を対象に、次年時の作編曲法Basicを履修する前提となる「メロディ作成の基本的作法」「メロディと和声の調和の基礎」を学び、抑揚のあるメロディとメロディを生かす効果的な和音を作れる様になる。							

<実務者経験>  
作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】  
 「メロディを作る発想の仕方のコツを身に着ける」  
 「抑揚のある魅力的なメロディの作り方を会得する」  
 「メロディとそのメロディに合う簡単で効果的な和声を組み合わせる事が出来る」

授業計画・内容	
1回目	装飾としての外音の使い方・単純なメロディを外音を使って豊かなメロディにアレンジする
2回目	和音の種類・調の意味とTSDの役割・TSDT決め打ちの緩急のあるメロディ作成をする
3回目	ドミナントモーションと7thコード
4回目	四和音上での作曲と注意点
5回目	短音階上での作曲・ナチュラルマイナー
6回目	短音階上での作曲・ハーモニックマイナー
7回目	短音階上での作曲・メロディックマイナー
8回目	キーとは何か？キーの判別
9回目	sus4・sus2コードと解決
10回目	add9の使い方
11回目	6thコードの使い方
12回目	後期まとめ・自由課題
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習時間外学習	時間外作成作品を譜面で持参する
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ抑揚のあるメロディと、それを効果的に生かす和声が付けられているか、総合評価。
受講生へのメッセージ	初心者を脱するための基本的な作曲作法を身につけます
【使用教科書・教材・参考書】	
音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具・ヘッドフォン又はイヤフォン	

科目名 (英)	楽曲制作技法Ⅲ ( Songwriting Techniques )	必修選択	必修選択	年次	2年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義演習	総時間(単位)	60 ( 4 )	開講区分 曜日・時限	前期 水曜1.2限
【授業の学習内容】							

作曲初学者から作曲中級者を対象に、メロディを生かすより効果的で複雑な和音を、複数の選択肢から選び実践出来る様にする。時代に沿った効果的な転調と和音進行、それらの有機的な連結を出来る様になり、単純なメロディ作成だけではなく、転調やより複雑な和音進行前提のメロディ・対旋律を作れる様にする。既存曲のアライズをする事で、実践的なセオリーの使用法を学ぶ。

<実務者経験>  
作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】

部分転調・代理和音を効果的に使える様になる  
本格転調をする引き出しを増やし、より多彩な作曲が行える様になる  
一つのメロディにつける和音の引き出しを増やし、メロディの表情を和音でコントロール出来る様になる  
ベースラインも含めた、メロディに対する効果的な対旋律を作れる様になる

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認 授業概要説明 アベイラブルノートスケールの意味・ミクソリディアンの意味とドミナントモーションとの関係
2回目	セカンダリードミナント①・近親調とは何か？・属和音へのセカンダリードミナント メジャーキー  7
3回目	セカンダリードミナント②・メジャー・マイナーでの下属和音へのセカンダリードミナント 7・ミクソリディアン 6th
4回目	セカンダリードミナント③・平行調との行き来・ メジャーキー  7・Hmp5
5回目	セカンダリードミナント④・メジャーキー V7・マイナーキー 7
6回目	セカンダリードミナント⑤・メジャーキー VII7・マイナーキー 7
7回目	Im7-V7・ Im7-5・ツーファイブモーション
8回目	テンション1_ドミナントV9&V 9&V#9
9回目	テンション2_ドミナントV9sus4&V#11
10回目	テンション3_ドミナントV13sus4&V 13
11回目	トニック・サブドミナントでのテンション
12回目	ライトーン・サブステイトゥーション
13回目	前期まとめ・自由課題
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習時間外学習	今週の課題が時間内に終わらなかった場合、次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップしてくる
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ良いメロディと、それを効果的に生かす和声・展開を含めた編曲が出来ているかを総合評価。
受講生へのメッセージ	ある程度和声や旋律を作れる人が、更に完成度の高い作品制作が出来るように学習します
【使用教科書・教材・参考書】	
DAW・音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具	

科目名 (英)	楽曲制作技法IV ( Songwriting Techniques )	必修選択	必修選択	年次	2年後期	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義演習	総時間(単位)	60 ( 4 )	開講区分 曜日・時限	後期 水曜1.2限

【授業の学習内容】

作曲初学者から作曲中級者を対象に、メロディを生かすより効果的で複雑な和音を、複数の選択肢から選び実践出来る様にする。時代に沿った効果的な転調と和音進行、それらの有機的な連結を出来る様になり、単純なメロディ作成だけではなく、転調やより複雑な和音進行前提のメロディ・対旋律を作れる様にする。既存曲のアライズをする事で、実践的なセオリーの使用法を学ぶ。

<実務者経験>

作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】

部分転調・代理和音を効果的に使える様になる

本格転調をする引き出しを増やし、より多彩な作曲が行える様になる

一つのメロディにつける和音の引き出しを増やし、メロディの表情を和音でコントロール出来る様になる

ベースラインも含めた、メロディに対する効果的な対旋律を作れる様になる

授業計画・内容	
1回目	パッsing・ディミニッシュ
2回目	♭ II9#11_ホールトーンスケール
3回目	ベース・ペダルポイント
4回目	モーダル・インターチェンジ-1
5回目	モーダル・インターチェンジ-2
6回目	モーダル・インターチェンジ-3
7回目	ソプラノ・ペダルポイント
8回目	ライン・クリシェ
9回目	Riffによる作曲実践
10回目	ドミナント転調・ピボットコード転調
11回目	dim7-augの読み替えによる転調
12回目	コモンノート転調・後期まとめ
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習時間外学習	今週の課題が時間内に終わらなかった場合、次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップしてくる
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ良いメロディと、それを効果的に生かす和声・展開を含めた編曲が出来ているかを総合評価。
受講生へのメッセージ	ある程度和声や旋律を作れる人が、更に完成度の高い作品制作が出来るように学習します
【使用教科書・教材・参考書】	
DAW・音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具	

科目名 (英)	楽曲制作技法V ( Songwriting Techniques )	必修選択	必修選択	年次	3年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義演習	総時間(単位)	60 ( 4 )	開講区分 曜日・時限	前期 火曜2.3限
【授業の学習内容】							

実際のアルバム制作を行うことにより、机上の知識ではなく、実制作に役に立つ経験値を身につける。クライアントありきでは無い、自己発信する機会を設けることにより、自己の根本的な創作センスと技術を再確認する。

＜実務者経験＞  
作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】  
三年間の学習成果の総決算として、今迄学習してきた知識・センスを総動員した作編曲・作詞・録音・編集・ミックスダウン・マスタリング・パッケージングをトータルとしてプロデュース出来る能力を身に付ける。コンセプトに則った楽曲制作方法を身に付ける。長期のスケジュールに則った、計画的なディレクションワークを身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	コンセプト固め・チーム編成・スケジュール立案
2回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
3回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
4回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
5回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
6回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
7回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
8回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
9回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
10回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
11回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
12回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
13回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習時間外学習	授業時間内では出来ない制作全般の実施
評価方法	締め切り毎の到達度合いと作品の総合的なクオリティを評価
受講生へのメッセージ	音楽家の到達点の一つである「総合作品制作」を実施します。
【使用教科書・教材・参考書】	
PC・DAW・その他音楽制作に必要なもの全般	

科目名 (英)	楽曲制作技法VI ( Songwriting Techniques )	必修選択	必修選択	年次	3年	担当教員	野崎 貴潤
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義演習	総時間(単位)	60 ( 4 )	開講区分 曜日・時限	後期 火曜2.3限
【授業の学習内容】							

実際のアルバム制作を行うことにより、机上の知識ではなく、実制作に役に立つ経験値を身につける。クライアントありきでは無い、自己発信する機会を設けることにより、自己の根本的な創作センスと技術を再確認する。

＜実務者経験＞  
作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】  
三年間の学習成果の総決算として、今迄学習してきた知識・センスを総動員した作編曲・作詞・録音・編集・ミックスダウン・マスタリング・パッケージングをトータルとしてプロデュース出来る能力を身に付ける。コンセプトに則った楽曲制作方法を身に付ける。長期のスケジュールに則った、計画的なディレクションワークを身に付ける。

授業計画・内容	
1回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
2回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
3回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
4回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
5回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
6回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
7回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
8回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
9回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
10回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
11回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施
12回目	各チーム毎にスケジュールに則った制作の確認と実施・最終パッケージ提出
13回目	最終作品を持ち寄った試聴会・評価・今後の課題の確認
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習時間外学習	授業時間内では出来ない制作全般の実施
評価方法	締め切り毎の到達度合いと作品の総合的なクオリティを評価
受講生へのメッセージ	音楽家の到達点の一つである「総合作品制作」を実施します。
【使用教科書・教材・参考書】	
PC・DAW・その他音楽制作に必要なもの全般	

科目名 (英)	編集・ディレクション I・II ( Editing & Direction )	必修選択	必修選択	年次	2.3年後期	担当教員	Yuzen
学科・コース	音楽プロデュース科	授業形態	講義演習	総時間(単位)	120 ( 8 )	開講区分 曜日・時限	前期 金曜2.3限
【授業の学習内容】							
主にボーカルミックスについて学びます。その他にもボーカルのディレクションや特殊なエフェクトの使い方等も同時に学びます。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	ボーカルディレクションの心構え、ボーカルミックスの考え方について
3回目	ボーカルテイク選出、テイクフォルダの使用方法
4回目	①ピッチ修正(メロダイン使用方法)
5回目	②ピッチ修正(ピッチ修正)
6回目	③ピッチ修正(リズム修正)
7回目	ボーカルに対するコンプレッサーの使用方法①
8回目	ボーカルに対するコンプレッサーの使用方法②
9回目	ボーカルに対するEQの使用方法①
10回目	ボーカルに対するEQの使用方法②
11回目	ボーカルに対するサチュレーションの使用方法①
12回目	ボーカルに対するサチュレーションの使用方法②
13回目	ボーカルに対しての空間系エフェクトの使用方法①
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習時間外学習	エフェクトの種類に対しての理解
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】30%
受講生へのメッセージ	ボーカルというパートは今も昔も変わらず主役になるパートです。 その主役になる部分の音をしっかりと作れるようになり、自身の楽曲のレベルをあげていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X メロダイン	

科目名 (英)	編集・ディレクションⅢ・Ⅳ ( Editing & Direction )	必修 選択	必修 選択	年次	2.3年後期	担当教員	Yuzen
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 ( 8 )	開講区分 曜日・時限	後期 金曜2.3限
学科・コース	音楽プロデュース科						

【授業の学習内容】  
前期で学んだ基本エフェクトを基盤にして、ジャンルごとに沿ったエフェクトを掛けられるようになる。

＜実務者経験＞  
黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。

【到達目標】  
ジャンルに沿ったボーカルの音作りができるようになる。  
特殊なエフェクト(ボコーダー等)が問題なく使用できるようになる。

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	前期のおさらい ボーカルに対しての空間系エフェクトの使用方法②
3回目	ロック系楽曲に対してのボーカル処理について①
4回目	ロック系楽曲に対してのボーカル処理について②
5回目	ロック系楽曲に対してのボーカル処理について③
6回目	ダンス系楽曲に対してのボーカル処理について①
7回目	ダンス系楽曲に対してのボーカル処理について②
8回目	ダンス系楽曲に対してのボーカル処理について③
9回目	バラード系楽曲に対してのボーカル処理について①
10回目	バラード系楽曲に対してのボーカル処理について②
11回目	バラード系楽曲に対してのボーカル処理について③
12回目	テスト実施
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	歌モノの自作楽曲準備
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】30%
受講生への メッセージ	ジャンルに沿ったボーカルの音作りについて学びます。自作楽曲で実際に“使える”ようなエフェクトを教えたいと考えていますので、今のうちに楽曲は作り貯めておいてください。
【使用教科書・教材・参考書】	
Macbook.Logic Pro X	

科目名 (英)	作品制作ワークショップ ( Creation Seminar )	必修選択	必修選択	年次	1.2.3	担当教員	永吉啓嗣	
		授業形態	実技	総時間(単位)	90 ( 6 )	開講区分	前期	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
本授業は学生自ら立案したプロジェクトを題材に作家／アーティストとしてのセルフプロデュース能力を高める為の授業である。プロジェクトの立案／企画／運営→作品制作→発表→検証 が一連の流れとなる。単に「楽曲を作る」のではなく、「その楽曲にどう価値を生むのか」までを現役で活躍する講師と一緒に考え、制作に取り組むことで、自身の業界における作家／アーティストとしての自立像を作っていく。								
講師プロフィール 株式会社アミューズ所属アーティスト「ASTERISM」のプロデューサー・アレンジャーとして活動しながら、株式会社リブソンのプロデューサーとして福岡でメジャーに向けた新人发掘から音楽制作まで幅広く活躍中。								
<b>【到達目標】</b> アーティスト、クリエイターとしての「音楽を職業にする」ために必要なスキル ・実践的なクリエイティブ能力 ・戦略的なセルフプロデュース能力 を向上させる。授業の中で自身の楽曲を収益化させることを最大の目標とする。								

授業計画・内容	
1回目	オリジナル楽曲制作／オリエンテーション
2回目	オリジナル楽曲制作／講義：音楽のマネタイズについて
3回目	オリジナル楽曲制作／講義：音楽業界について
4回目	オリジナル楽曲制作／講義：作詞について
5回目	オリジナル楽曲制作／講義：ミックスダウンについて
6回目	オリジナル楽曲制作／講義：ルーツミュージックについて
7回目	オリジナル楽曲制作／講義：ヒット曲の分析法
8回目	オリジナル楽曲制作／講義：プラグインの考え方
9回目	オリジナル楽曲制作／講義：コンペの考え方
10回目	オリジナル楽曲制作／講義：SNS戦略について
11回目	オリジナル楽曲制作／講義：メタバースについて
12回目	オリジナル楽曲制作／講義：サブスクリプションサービスについて
13回目	オリジナル楽曲制作／講義：著作権について
14回目	配信リリースイベント
15回目	配信リリースイベント
準備学習時間外学習	
評価方法	半期に最低1曲をアウトプットすることが最低限の評価基準とする
受講生へのメッセージ	音楽業界はレーベル一強の時代から完全に個の時代に突入しています。アーティストも作家も、狭い偏った知識・技術だけでは仕事になりません。多角的な視点で自らの音楽を分析し、制作し、行動し、しっかりと結果を出すことがとても重要です。 皆さんが各自に自分の新たな可能性を見出し、その音楽の世界を広げることを、本授業担当講師は目標にします。一緒に充実した楽しい授業にしていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	作品制作ワークショップ ( Creation Seminar )	必修選択	必修選択	年次	1.2.3	担当教員	永吉啓嗣
		授業形態	実技	総時間(単位)	90 ( 6 )	開講区分	後期
学科・コース	音楽プロデュース科・プロミュージシャン科						金曜4.5限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
本授業は学生自ら立案したプロジェクトを題材に作家／アーティストとしてのセルフプロデュース能力を高める為の授業である。プロジェクトの立案／企画／運営→作品制作→発表→検証、が一連の流れとなる。単に「楽曲を作る」のではなく、「その楽曲にどう価値を生むのか」までを現役で活躍する講師と一緒に考え、制作に取り組むことで、自身の業界における作家／アーティストとしての自立像を作っていく。							
講師プロフィール：株式会社アミューズ所属アーティスト「ASTERISM」のプロデューサー・アレンジャーとして活動しながら、株式会社リブソンのプロデューサーとして福岡でメジャーに向けた新人发掘から音楽制作まで幅広く活躍中。							
【到達目標】							
アーティスト、クリエイターとしての「音楽を職業にする」ために必要なスキル							
・実践的なクリエイティブ能力							
・戦略的なセルフプロデュース能力							
を向上させる。授業の中で自身の楽曲を収益化させることを最大の目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	オリジナル楽曲制作／講義：JASRAC/Nextoneについて
2回目	オリジナル楽曲制作／講義：音楽出版社について
3回目	オリジナル楽曲制作／講義：NFTについて
4回目	オリジナル楽曲制作／講義：音響機材について
5回目	オリジナル楽曲制作／講義：セルフレコーディングについて
6回目	オリジナル楽曲制作／講義：コライティングについて
7回目	オリジナル楽曲制作／講義：音響機材について
8回目	オリジナル楽曲制作／講義：EQについて
9回目	オリジナル楽曲制作／講義：コンプレッサーについて
10回目	オリジナル楽曲制作／講義：マスタリングについて
11回目	オリジナル楽曲制作／講義：AIプラグインについて
12回目	オリジナル楽曲制作／講義：確定申告について
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習時間外学習	
評価方法	半期に最低1曲をアウトプットすることが最低限の評価基準とする
受講生へのメッセージ	音楽業界はレーベル一強の時代から完全に個の時代に突入しています。アーティストも作家も、狭い偏った知識・技術だけでは仕事になりません。多角的な視点で自らの音楽を分析し、制作し、行動し、しっかりと結果を出すことがとても重要です。 皆さんが各自に自分の新たな可能性を見出し、その音楽の世界を広げることを、本授業担当講師は目標にします。一緒に充実した楽しい授業にしていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	コンポジションソングライティングプロジェクト ( Composition Songwriting Project )	必修選択	必修選択	年次	1.2.3	担当教員	永吉啓嗣	
		授業形態	実技	総時間(単位)	90 ( 6 )	開講区分	前期	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
音楽プロダクション、レコードメーカー、一般企業より楽曲制作依頼を受け、滋慶学園COMグループ音楽系8校でそれぞれチームを編成し楽曲制作を行う。学生それぞれが、チームの中で役割を持ち、共同制作を行いながら実際の制作現場のシミュレーションを行う。 (講師プロフィール) 株式会社アミューズ所属アーティスト「ASTERISM」のプロデューサー・アレンジャーとして活動しながら、株式会社リブソンのプロデューサーとして福岡でメジャーに向けた新人发掘から音楽制作まで幅広く活躍中。								
【到達目標】 各案件での楽曲採用を最大の目標とし、総合的なクリエイティブ能力を向上させる。 1年生は主に楽曲制作スピードの向上 2年生は主に楽曲クオリティの向上 3年生はスピードとクオリティを踏まえ価値を生み出す実践力を身につける								

授業計画・内容	
1回目	企業課題制作／オリエンテーション
2回目	企業課題制作／コンペティション分析①
3回目	企業課題制作／プレゼンテーション基礎
4回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション①
5回目	企業課題制作／コンペティション分析②
6回目	企業課題制作／セルフレコーディング基礎
7回目	企業課題制作／コライティング基礎
8回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション②
9回目	企業課題制作／コンペティション分析③
10回目	企業課題制作／コードワーク基礎
11回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション③
12回目	企業課題制作／コンペティション分析④
13回目	企業課題制作／ミックスダウン基礎
14回目	Jikei Composer GP
15回目	Jikei Composer GP
準備学習時間外学習	課題を家に持ち帰るのではなく可能な限り授業中に集中して制作し完成させていくことを目標とします
評価方法	各案件での楽曲採用が最大の評価であり また、チーム編成である故の出席率、及び毎回の楽曲提出が最低限の評価基準となる
受講生へのメッセージ	とにかく制作に向き合う時間であり、第一線で活躍する講師陣と制作を共有できる貴重な時間になります。音楽制作におけるインプットとアウトプットを兼ねた効率的な成長の場です。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	コンポジションソングライティングプロジェクト ( Composition Songwriting Project )	必修選択	必修選択	年次	1.2.3	担当教員	永吉啓嗣	
		授業形態	実技	総時間(単位)	90 ( 6 )	開講区分	後期	
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
音楽プロダクション、レコードメーカー、一般企業より楽曲制作依頼を受け、滋慶学園COMグループ音楽系8校でそれぞれチームを編成し楽曲制作を行う。学生それぞれが、チームの中で役割を持ち、共同制作を行いながら実際の制作現場のシミュレーションを行う。 (講師プロフィール) 株式会社アミューズ所属アーティスト「ASTERISM」のプロデューサー・アレンジャーとして活動しながら、株式会社リブソンのプロデューサーとして福岡でメジャーに向けた新人发掘から音楽制作まで幅広く活躍中。								
【到達目標】 各案件での楽曲採用を最大の目標とし、総合的なクリエイティブ能力を向上させる。 1年生は主に楽曲制作スピードの向上 2年生は主に楽曲クオリティの向上 3年生はスピードとクオリティを踏まえ価値を生み出す実践力を身につける								

授業計画・内容	
1回目	企業課題制作／コンペティション分析⑤
2回目	企業課題制作／マスタリング基礎
3回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション⑤
4回目	企業課題制作／コンペティション分析⑥
5回目	企業課題制作／楽曲アレンジ基礎
6回目	企業課題制作／サウンドエフェクト基礎
7回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション⑦
8回目	企業課題制作／コンペティション分析⑧
9回目	企業課題制作／ボーカルディレクション基礎
10回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション⑧
11回目	企業課題制作／コンペティション分析⑨
12回目	企業課題制作／プロデュースワーク基礎
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作
準備学習時間外学習	課題を家に持ち帰るのではなく可能な限り授業中に集中して制作し完成させていくことを目標とします
評価方法	各案件での楽曲採用が最大の評価であり また、チーム編成である故の出席率、及び毎回の楽曲提出が最低限の評価基準となる
受講生へのメッセージ	とにかく制作に向き合う時間であり、第一線で活躍する講師陣と制作を共有できる貴重な時間になります。音楽制作におけるインプットとアウトプットを兼ねた効率的な成長の場です。
【使用教科書・教材・参考書】	